

アカザ シロザ 【アカザ科】

1 年草。

畑地，庭，空き地などに普通に生育し，特に窒素の多い場所を好み堆肥置き場の近くなどに群生する。

茎は太く丈夫で堅く，縦の稜がある。

高さ60～150cm。葉は互生し，三角状卵形で先が尖り，緑に不整の鋸歯がある。

芽や新しい葉，葉の裏面に白い粉（またはやや紅色の粉）が多数ついている。8～10月に茎先や葉腋に穂状に緑色の花が密集してつく。

分布：全国

◆ シロザはあまり印象に無いのだが、きょう、同じ所に生えていたので、昔からあったのかもしれない。アカザの葉はシロザより薄いのが、やや大きい。

アカザ



シロザ



エノコログサ【イネ科】

1 年草。

夏の畑地におけるイネ科強害草。

道端，空き地などにも普通に生息する。

茎は地ぎわで分けつし株になり高さ20～70cm。円柱状で節はやや高い。

葉は綿状披針形で先は次第に尖り無毛で薄い。

葉鞘は長く緑に毛がある。7～9月に長さ3～6cmの緑色で円柱状の花穂をつける。小穂の基部に長い毛がある。

花穂が子犬の尾に似ているのでこの名がある。

分布：全国



オオアレチノギク【キク科】

越年草。

南アメリカ原産の帰化植物。

夏の代表的な雑草の一つでいたる所に群生する。幼苗は主に秋に発生し、ロゼット葉を放射状に広げる。倒披針形で粗い鋸歯があり、両面に毛が密生し、ややビロード状。

翌年茎が立ち、高さ1～2m。

茎の葉は線形で細長く鋸歯がある。茎・葉に柔らかい毛がある。

8～9月に茎上部に多数の枝が出て白い頭状花を多数つける。

分布：本州～沖縄



オオイヌノフグリ【ゴマノハグサ科】

越年草。

ヨーロッパ原産の帰化植物で現在では春の代表的な雑草となっている。

畑地，庭などいたる所に最もふつうに生息している。

秋に発生し，冬から春にかけて成長する。

茎は根ぎわで分枝して株になって四方に広がり，長さ30～50cm。

葉は卵形で少し鋸歯があり下部の葉は柄があり対生，上部は無柄で互生。

1～6月に葉腋に長い花柄を出し青紫色の花をつける。

分布：全国

オヒシバ【イネ科】

1年草。

畑地での夏のイネ科雑草の代表種の一つで，いたる所に普通に生息する。

踏みつけにも強く，グラウンドや道などでも平気で生息する。

茎は扁平で平滑，丈夫で容易に引き抜けない。高さ20～50cm。

葉は線形で長さ8～30cmと大きく，やや堅く，平滑で縁に長く柔らかい白毛がある。

8～9月に数個の穂軸を掌状に広げ，穂軸に小穂を2列に密に付ける。

分布：全国

オランダミミナグサ【ナデシコ科】

越年草。

ヨーロッパ原産の帰化植物で畑地，庭，道端，空き地などに普通に生育し，ミミナグサよりも発生量が多い。

秋に発芽し，翌春に分枝して株になり茎が立つ，高さ10～30cm。

葉は対生し長楕円形で無柄，やや厚みがある。

全体に白い毛が密生し，また綿毛が多くさわると少し粘った感じがする。

3～5月に枝の先に白色の花を密に付け全体が傘状になる。

分布：本州～沖縄

カタバミ【カタバミ科】

多年草。

畑地，庭，道端などいたる所に最もふつうに生息する。

茎はよく分枝して四方にはい，節から根を出し，長さ10～30cm。ほふく茎は越冬して翌春そこから芽を出す。

葉は長い柄があり，3枚の小葉からなる複葉，小葉は心臟型で細かい毛がある。

葉は夜間はたたんで閉じる。5～10月に花柄を伸ばし，先が分枝して黄色の花を付ける。

果実は熟すとはじける。

分布：全国

カヤツリグサ【カヤツリグサ科】

1年草。

畑地，樹園地，道端などに最も普通に生息する。

茎は3稜形で地ぎわから分枝して直立し，高さ30～40cm。

葉は，根生し細長い線形で先は次第に尖り，柔らかい。全体に香気がある。

根はひげ根でやや紫褐色を帯びる。

7～8月に茎の先に長い包葉を3～5個つけ，その間から数本の花茎を伸ばし，多数の小穂を密につける。小穂は黄褐色。

分布：本州～九州

カラスノエンドウ【マメ科】

越年草。

0. 共通

大項目【農業と環境】 中項目【雑草】小項目【11. 畑地雑草】

畑地，道端，土手などに普通に生育。秋に発生し，翌春茎が多数に分枝し株になり，高さ50～100cm。

茎は四角柱状。葉は互生し，5～6対の小葉が対生する偶数羽状複葉で先は巻きひげとなる。葉の基部には托葉がある。

4～6月に葉腋に短い花柄のある紅紫色の蝶形花を1～2個つける。

果実はさや状で熟すと黒色。別名ヤハズエンドウ

分布：本州～沖縄

スギナ【トクサ科】

多年草。

畑地，土手，道端などに普通に生育し，特に酸性の土壤に好んではえる。

地下茎を四方に伸ばし節々から芽を出す。

晴早く孢子茎（ツクシ）が現れ，次いで栄養茎（スギナ）が現れ，栄養茎は30～50cm，鮮緑色の円柱形で中空，縦に溝があり質は堅い。節から多数の枝を輪生する。

小枝は四角柱状で先が4裂する。鞘状の葉をもつ。

分布：北海道～九州

スズメノカタビラ

越年草または1年草。

春のイネ科の代表的な草で，畑地，庭，道端などいたる所に普通に生育する。

多くは，秋に発生する。

幼苗の葉はスズメノテッポウよりも幅が広い。茎は平たく，分けつして株になり高さ5～30cm。葉は線形で平滑，先は急に尖る。

茎や葉は軟弱で無毛。2月頃から夏まで，花が咲く。茎の先に卵形で淡緑色の小穂をまばらにつける。

分布：全国

スベリヒユ【スベリヒユ科】

1年草。

畑地，庭，道端などいたるところに最も普通に生育する。

夏の広葉雑草の代表種。茎は赤紫色で無毛，円柱形で柔らかい。根もとで分枝して地表に広がり15～30cm。

葉は対生しへら状倒卵形で多肉質，緑色で光沢がある。

茎，葉ともにつるつるしている。6～9月に茎の先に葉が集まり，その間に3～5個の黄色の花をつける。

花は日光を受けて開く。

分布：全国

チガヤ【イネ科】

多年草。

道端，畦畔，堤防，荒地などに最も普通に生育する。地下茎を伸ばして繁殖する。

葉は長い線形で，やや堅く，下部は狭くなって葉鞘のようになる。

葉鞘には，普通毛がある。5～6月。葉が出るころに穂を出す。

花穂は尾状で包えいにはつやのある白色の絹毛がはえ，穂全体が円柱状，中に茶褐色の葯がある。

分布：全国

ハコベ【ナデシコ科】

1年草または越年草。

庭，畑地，空き地，道端などに最も普通に生育する春の代表的な草。

茎は分枝して株になり四方に広がって上部は斜上する。高さ10～30cm。

0. 共通

大項目【農業と環境】 中項目【雑草】小項目【11. 畑地雑草】

質は柔らかく、片側に1列の毛がある。葉は卵形状で対生、無毛。

茎の下部の葉は柄があるが上部では無柄。3～11月に茎の先に白色の花を多数つける。

花弁は5枚だが深く2裂するので10枚に見える。別名コハコベ。

分布：全国

ハハコグサ【キク科】

越年草。

畑地、庭、道端などいたる所に普通に生息する。コギョウとも呼ばれ春の七草の一つ。

秋に発生し、幼苗は白い毛におおわれる。春に茎が立ち、高さ15～40cm。

葉は互生、線状披針形で葉柄には翼があり、そのまま茎につく。

茎・葉ともに柔らかい白い毛におおわれる。

4～6月に茎の先が数本に分枝し先に黄色の頭状花を多数つける。

別名、ホウコグサ。

分布：全国

ハルジオン【キク科】

多年草または1年草。

北アメリカ原産の帰化植物。春～夏にかけての代表的な雑草でいたるところに群生する。主に秋に発生し、ロゼットで越冬し、翌春茎が立つ。

茎は中空で白い毛が密生し、高さ50～80cm。

茎の葉の基部は耳形で茎を抱く、葉にも毛がある。

4～5月に茎上部に多数の頭状花をつける。開花前に蕾が下向きに垂れて紅色に染まる。

果実には冠毛がある。

分布：全国

ヒメムカシヨモギ【キク科】

越年草。

北アメリカ原産の帰化植物。オオアレチノギクとともに夏の代表的な雑草で、いたる所に群生する。秋に発生しロゼット葉で越冬する。

葉は卵形で長い葉柄がある。翌春茎が立ち高さ1.5～2m。

茎には粗い毛が密生する。

茎の葉は線形で密につき、まばらに鋸歯があり毛がある。

8～10月に茎上部に多数の枝を出し、それぞれの枝に白色の頭状花をつける。

分布：本州～九州

ヒメジョオン【キク科】

越年草。北アメリカ原産の帰化植物。ハルジオンとともに夏の畑地の代表的な雑草でいたる所に群生する。

茎は中空でなくつまっていて高さ50～150cm。

茎の葉は互生し、へら形で基部はしだいに狭まり、柄ははっきりしない。両面に毛がありややざらつく。

6～9月に茎の上部が多くに分枝し、先に頭状花をつける。花は白色か薄紫の舌状花と黄色の管状花からなる。

分布：全国

メヒジバ【イネ科】

1 年草。

オヒシバとともに夏の畑地におけるイネ科雑草の代表的な強害草。発生量が多く、ちょっと手を抜くと畑全面をおおいつくす。

春から夏にかけて発生し、茎は根ぎわで分枝して節々から根を下ろし、大きな株になり先は直立して高さ40～80cm。

葉は線状披針形、緑に毛があり、葉鞘にも長い毛がある。

7～9月に穂軸を掌状に開き、小穂を多数つける。

分布：全国